



かけはし

金橋小学校だより No.10

2026(令和8)年6月26日

発行者:伊禮徳彦

がっきゅう たの 学級のくらしをより楽しいものにするために

がっきゅう こ せんせい
学級のくらしは、子どもたちと先生が、いっしょになってつくっていきます。

より楽しい学級にするためにはどうしたらいいか、何をしたらいいのか。学級の
かんが おも じっげん なに がっきゅう
ことを考えたその思いが実現できれば、それを考えた子も、まわりで一緒に
かつどう こ こ たの じぶん
活動する子も、たくさんの子が楽しくなります。自分のしたいこと、みんなのやり
たいことが実現できる、そんな学級だと、毎日楽しいですね。

自分のしたいこと、みんなのやりたいことを実現するためには、まず、目指すべ
きところを決めなくてはなりません。行先のわからない船には乗ることはできま
せん。

その目指すべきところを、学級で出し合って、合言葉にします。各学級に合言葉があり、今、
ほけんしつ まえ けいじばん は だ がっきゅう
保健室の前の掲示板に張り出しています。どんな学級にしていこうと思っているのか、学級の中で
じぶん じっげん あいことば
どんな自分になっていくのかがつまった合言葉です。

この合言葉を目指して各学級が動いていきます。国語で音読をしている時も、体育でゲーム型
の運動をする時も、図工で自由に作品を組み立てている時も、休み時間も、朝の会・帰りの会も、
がっきゅう あいことば まえ
学級のくらしには、この合言葉がみんなの前にあります。



この合言葉をより進める学習の1つに学級活動があります。自分のしたいこと、みんながしたいこと、その思いを実現するために、学級会、話し合い活動があります。

まず、みんなで話し合う議題を決めます。学級みんなでしてみたいこと、学級のくらしがもっとよくなること、みんなで作ってみたいこと、みんなにお願いしたいことやみんなで解決したいこと、以前の活動で課題になったことを学級で出し合います。その中から「今、学級で話し合うことは何か」と子どもたちと先生が判断します。それを学級会では議題と言います。議題が決まったら、学級のみんなに知らせます。知らされたみんなは学級会までの間に自分の意見を考えます。



そして、いよいよ学級会。みんなの顔が見えるようにコの字型に机を配置し、前には司会グループが並びます。黒板も作っておきます。

司会グループさんが話し合うことを順番に進めていきます。フロアーのみんなはやりたいことを理由を付けて発表していきます。たくさん意見が出たときは、その中から意見の折り合いをつけて、より提案した子の思いに近いものに絞っていきます。話し合いで難しいのは、この場面です。出した意見の折り合いをつけることが難しいのです。自分の意見をゆずる、自分の意見を新しいものに変えるって、なかなか難しいのです。



ずっとすることが決まったり、紆余曲折の末やるところがきまったり。そうやって決まったことを準備して、集会を開いたり、みんなで何か作ったり、挑戦することが決まったり。

その学級でしかできないことをつくりあげていきます。その一つ一つの積み重ねが、学級の雰囲気となり、学級の文化となり、学級の歴史となります。

「夏祭りを開こう」という議題から、食べ物屋さん、などをしようと決まりました。本番までの間に、やきそば、チョコバナナ、ジュースをつくったり、割り箸をつかって射的の用意をしたりして、自分の担当の係の準備に取りかかります。当日は、準備したお店に行き、みんなでそれを楽しみます。

学級会で話し合うまでは、何もなかったのですが、みんなで話し合うことで、みんなが楽しめる、学級がより豊かになるものが生まれます。

一人ひとりの『思い』がぶつかることもあると思います。そんな時こそ合言葉を真ん中に置いて、みんなが居心地のいい学級のくらしをつくってほしいなあと考えています。